



議会だより

あさひむら



まだまだ現役、シニア世代

「久しぶり」「元気かね?」「達者でいたかい?」と楽しい会話が飛び交うこの日、参加者 92 人の笑顔が溢れていた。

長年地域を支えてきた皆様への敬意を表し、これからも益々お元気で!



• 新しい議会構成	2
• 臨時会・定例会	3
• 全員協議会・委員長報告	4
• 一般質問 村政を問う	5~9
• 議員活動報告・議員活動日誌	10~11
• 村民の声・我がむら再発見・編集後記	12

●「議会だより」第 57 号

発行日/2025年7月31日

発行/朝日村議会

〒390-1188 長野県東筑摩郡朝日村
大字古見1555番地1

TEL.0263-99-2001 (代)

FAX.0263-99-2745

Eメール:gikai@vill.asahi.nagano.jp

印刷/川越印刷株式会社

議会構成 新たなスタート

第3回
臨時会

議長就任あいさつ 朝日村議会議長 小林 弘之

4/30



この5月、朝日村議会議長を拝命いたしました。甚だ微力ではございますが、村民の皆さまの負託に応えるべく、その責務の重大さを痛感しながら、全力で努めてまいり所存でございます。

朝日村を取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化、地域経済の活性化など、さまざまな課題に直面しております。こうした中で、村民の皆さまの安心・安全な暮らしを守り、未来へつなげる持続可能な地域づくりを進めていくことが、私たち議会の使命であると強く感じております。

私はこれまで、住民に寄り添う姿勢を大切に、現場の声を丁寧に拾い上げ、行政にしっかりと届ける役割を果たしてまいりました。今後も、議会の透明性と信頼性を高めるため、開かれた議会運営に努めてまいります。

また、副議長をはじめ全議員が力を合わせ、時には議論を重ねながらも、建設的な意見交換を通じて、村政の円滑な推進に寄与してまいります。

結びに、これからも村民の皆さまのお力添えとご指導を賜りますようお願い申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

副議長あいさつ 朝日村議会副議長 清澤あゆみ



この度、副議長を拝命いたしました清澤あゆみでございます。

これまで私は、教育委員としての経験や、商工会女性部長、防災士という立場から、地域のみなさまと関わり合いながら、支えてくださる多くの方々への感謝を忘れずに活動してまいりました。その思いを胸に、これからは副議長として、議長をしっかりと支え、円滑な議会運営に努めてまいります。

感謝と謙虚な気持ちを忘れず、対話を大切に、明るく開かれた議会を目指して取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

議会構成及び一部事務組合等議会議員

選挙結果

議会構成	
正副議長	議長：小林弘之 副議長：清澤あゆみ
総務産業委員会(5名)	委員長：豊田恵美子 副委員長：清沢敬子 委員：中村文映 北村直樹 小林弘之
社会文教委員会(5名)	委員長：齊藤正法 副委員長：古池美佐江 委員：清沢正毅 羽多野美映 清澤あゆみ
議会運営委員会(4名)	委員長：清沢正毅 副委員長：齊藤正法 委員：豊田恵美子 清澤あゆみ
広域連合及び一部事務組合	
松本広域連合議会(1名)	小林弘之
松塩地区広域施設組合議会(2名)	小林弘之 齊藤正法
松本市・山形村・朝日村中学校組合議会(6名)	小林弘之 齊藤正法 古池美佐江 清沢正毅 羽多野美映 清澤あゆみ
松塩筑木曽老人福祉施設組合議会(1名)	清澤あゆみ

専決処分承認、契約議決等

4月30日に第3回臨時会が招集され、上程されたすべての議案を原案通り可決した。

- 報告1件 …… 村の義務に属する和解及び損害賠償の額の専決処分について
- 専決処分の承認4件 …… 条例2件(税条例一部改正・国保税条例一部改正)
補正予算2件(令和6年度一般会計…除雪費140万円・保育園給食室ボイラー取替工事100万円・公民館排水設備修繕費20万円・令和6年度介護保険特別会計)
- 契約2件 …… 朝日小学校長寿命化事業給食棟・昇降口棟改修工事1億9,250万円
朝日美術館・朝日村歴史民俗資料館改修工事5,698万円
- 選挙 …… 正副議長・広域連合議会議員・一部事務組合 *結果は別記

一般会計 6月補正予算 3億円追加

地域レジリエンス事業(小学校)、診療所建設事業、スキー場特別会計繰出金等

令和7年度一般会計予算 **総額46億1000万円**に

6月の定例会は3日から13日までの11日間開催された。3日全員協議会、6日には常任委員会、10日に一般質問を行い、13日最終日に上程されたすべての議案を原案通り可決した。主な議案は次の通り。

**6月
定例会
6/3～6/13**

- 報告3件 …… 繰越明許費繰越計算書・簡易水道事業会計予算繰越計算書・土地開発公社経営状況
- 条例3件 …… 国民健康保険税条例の一部を改正する条例他
- 予算3件 …… 一般会計補正予算・国民健康保険特別会計補正予算
あさひプライムスキー場事業特別会計補正予算
- 意見書4件 …… さらなる少人数学級推進と教育予算の増額を求める意見書他

〈主な議案〉

令和7年度朝日村一般会計補正予算

- 歳入・村税1億595万円、国庫支出金1億677万円、繰入金7,980万円、
村債8,140万円を増額。地方交付税8,180万円を減額。
- 歳出・小学校地域レジリエンス自立分散型エネルギー設備導入事業1億6,830万円
 - ・診療所建設事業8,000万円
 - ・スキー場特別会計繰出金1,250万円
 - ・定額減税不足額調整給付金2,305万円
 - ・森林整備支援事業委託料230万円

スキー場リフト運転室等 現地を視察(6/5)

6月5日(木)一般会計補正予算とスキー場会計補正予算に計上された、スキー場電気設備調査と第2リフト運転室工事請負費(1,250万円)の現場状況の確認を行った。全員協議会での議案内容説明では、詳細がわからないということで8名の議員が参加した。現地では、産業振興課職員と指定管理者が立ち会い、建物の劣化の過程や状況、シーズン中の利用状況を聞き、室内の電気設備の重みで床が崩れている様子や外壁が腐食している様子を視察した。



劣化が激しいリフト室

議案第48号 一般会計補正予算についての質疑



最終日には議案第48号令和7年度朝日村一般会計補正予算について豊田恵美子議員から質疑があった。

質問 スキー場特別会計繰出金 1,250万円（電気設備調査と第2リフト運転室工事費）について、6月定例会に至るまでに全員協議会等で説明する機会は何度かあったはず。この補正予算の出し方についてどう考えるか。

小林村長 2月に指定管理者より現状の話があり、5月に業者より見積書があがってきたため、6月の補正予算ということになった。

議案第48号令和7年度朝日村一般会計補正予算（第1号）について
 議案第50号令和7年度あさひプライムスキー場事業特別会計補正予算（第1号）について

	齊藤正法	中村文映	羽多野美映	豊田恵美子	清澤あゆみ	古池美佐江	北村直樹	清沢正毅	清沢敬子
議案第48号	○	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第50号	○	○	○	×	○	○	○	○	○

全員協議会

4月9日

- 令和7年度組織体制
- 個別施設計画・行財政改革大綱の説明

- 医療費助成のオンライン資格確認について

4月30日

- 朝日村行財政改革大綱の質疑
- 国・県への要望

- 朝日村議会として5つ要望することを決定。

- 風食防止対策への新技術支援
- 松枯れ対策への支援
- 地方議員のなり手不足問題に対する国・県の支援

- 更なる少人数学級の実現

5月13日

- 朝日小学校地域レジリエンス自立分散型エネルギー設備導入事業

- 朝日小学校への太陽光発電設備、照明LED化の導入計画。補助金と地方債を活用。

- あさひ診療所の建設スケジュール

6月13日

- 地域優良賃貸住宅建設スケジュールについて

- 令和7年度は1棟5戸の建設をする。10月より建物建設開始予定。

- あさひ診療所のスケジュールについて

- 令和8年6月の開業に向けて、この7月に入札が行われ工事ははじまる。

- かたくりの里（デイサービス棟）の改修について

- 使用されていない和室を改修しリハビリテーションのスペースを確保した。

- カーナビ搭載公用車のNHK受信契約

- 契約未締結であった公用車10台の対応について。

- 下洗馬地区県道歩道整備事業

- 県が行う歩道整備の報告。

- 小学校プールの一般公開

- 公開内容についての説明。

当初の計画より設計が2ヶ月ほど遅れている。

- 国民健康保険税率改正について

- 令和7年度朝日村長寿を祝う会について

社会文教委員会報告 陳情等審査

委員会は6月6日に開催し、請願第1号「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額を求める請願書」、請願第2号「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める請願書」、陳情第6号「高額療養費の自己負担上限額の引き上げをしない事を求める陳情」、陳情第7号「カリキュラム・オーバーロードの改善を求める意見書採択の陳情」の4件について、慎重に審議した結果、すべての請願・陳情を全会一致で採択すべきものとした。

請願2件は、国の責任のもと、少人数学級の推進及び教員配置の財源保障を行うことを求める内容。

陳情第6号は、自己負担上限額の引き上げは受診抑制や治療継続の断念につながりかねないこと、陳情第7号は、ひとりひとりの学びを尊重する時代であることを理解した。 社会文教委員長 齊藤正法



村政に問う!!

一般質問とは、議場において議員が日常活動と住民の声や疑問をもとに、村政全般にわたり行政の姿勢をたずねるものです。



こちらから動画でご覧いただけます。

ここが聞きたい 9 議員 15 項目

清沢 敬子 議員

- 1 防犯対策について
- 2 朝日村公共施設個別施設計画について

齊藤 正法 議員

- 1 クマゾーニング管理実施計画の推進について

中村 文映 議員

- 1 高齢になっても暮らしやすいむらづくり
- 2 地区活動のデジタル化支援について

羽多野 美映 議員

- 1 ワクチン接種と感染症対策～「健康村あさひ」としての責任と備え
- 2 小型充電式電池の回収体制に関する村の対応について

豊田 恵美子 議員

- 1 朝日村営の公園について
- 2 鳥獣被害防止柵の管理・熊のゾーニングについて
- 3 野俣沢林道の管理と今後の見通しについて

清澤 あゆみ 議員

- 1 子どもが村を語る場を
—主権者教育と子ども議会の可能性—

古池 美佐江 議員

- 1 朝日村自主番組について
- 2 地区自治会問題のその後について

北村 直樹 議員

- 1 小林村政2期6年の振り返りと残り任期2年の重点施策と課題について
- 2 村内の公共交通の今後の展望について

清沢 正毅 議員

- 1 朝日村の魅力発信の取組について
- 2 各区管理の神社境内にある樹木伐採への補助支援

問 住民説明会・アンケート実施の必要性は。

村長 個別案件ごとに行うのが適切。スキー場は大規模投資が明確に必要なとなった際に、真剣な議論を行うべき。安全上問題がない限り、お

村長 スキー場は民間所有の借地かつ農地扱いのため、農地転用など法的問題が絡み、すぐの譲渡は困難である。

問 厳しい財政状況の中、村の顔とするスキー場維持のため、指定管理期間5年を待たず、資産価値のあるうちに指定管理者へ譲渡してはどうか。

村長 制御盤が傾いた報告は受けていたが、村も指定管理者も原因調査が不十分だった。同様の小屋4つについても点検する。

問 厳しい財政状況の中、村の顔とするスキー場維持のため、指定管理期間5年を待たず、資産価値のあるうちに指定管理者へ譲渡してはどうか。

問 スキー場特別会計補正予算1250万円が計上され、内第2リフト運転室新築に1100万円。シロアリで壁・柱・床が腐食し、制御盤が傾いたが、放置した指定管理者の管理は適正か。村の指示は。

答 大型投資を行わず、指定管理者による管理を継続する



清沢敬子 議員

レクリエーション施設の
在り方は



あさひプライムスキー場グリーンシーズン

総務課長 一般的に自己責任で行うものと捉えており、現時点では考えていない。今後の検討事項とする。

問 犯罪抑止効果の高いセンサーライト・防犯カメラなど、高齢者世帯への防犯グッズ設置に対し、村が補助する考えはあるか。

高齢者世帯の防犯対策の強化について

金をかけず長く使う方針。



齊藤正法 議員

実施計画の目的は？



答 クマと人との緊張感ある共存関係を再構築すること。

問 村民への周知は？

産業振興課長 村民の理解と協力を得られるように啓発をはかる。クマの時期になるので、回覧板等でも周知していく。

問 生息地域・緩衝地域・排除地域の定義と役割は？

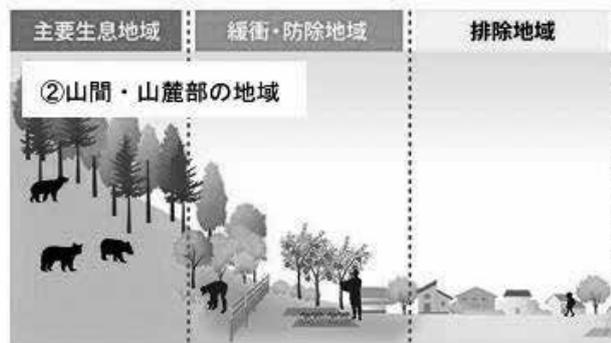
産業振興課長 生息地域：排除地域、緩衝地域を除いた森林部分でクマの主要な生息地域。緩衝地域：鳥獣被害防止柵から林内へ200m。森林資源の活用が定期的にある地域。排除地域：鳥獣被害防止柵の内側で人家や農地がある地域。

問 緩衝地域の整備は？

産業振興課長 各区に依頼している柵の管理を継続していく。柵に近い部分では、林内の見通しが良くなるように地権者の理解を得ながら整備を進めていく。

問 地域区分に応じた対応方針は？

産業振興課長 生息地域、緩衝地域では捕獲許可はしない。人身被害の恐れなどの場合に限り県による捕獲



許可が認められている。排除地域では村が有害捕獲を許可する。捕獲後は、条件に該当すれば学習放獣を検討するが、人身被害を起こした個体・人里へ執着する個体は捕殺対応とする。

村長 山形村と情報交換をしながら、長野県モデル事業として推進していきたい。



中村文映 議員

高齢者が暮らしやすいむらづくりをどう進めるか



答 認知症の取組み介護予防、フレイル予防に力を入れていきたい。

問 「すこやか長寿計画」特に力を入れて取組むことは何か。

住民福祉課長 介護認定者の21%が認知症。認知症の方も社会参加できるような場作り、取組みに力を入れていきたい。また、社協とも連携してフレイル予防に取組んで行きたい。

問 地域の居場所作りへ補助金等支援を行う予定はあるか。

村長 担って頂けるボランティア団体の育成をどうするかを考えていきたい。

問 村民が認知症を理解することが必要と思うが認知症サポーター養成講座をもっと開催したらどうか。

住民福祉課長 認知症になっても自宅で暮らすことが出来るのが大切だと思っているので講座等を開いていきたい。

地区活動のデジタル化支援について

問 地区のデジタル化をどのように進めて行くのか。村民のスマートフォン等の利用状況を村は把握しているか。

企画財政課長 住民アンケートではスマートフォンの使用率は9割、パソコン保有率は8割だが活用では60歳にデジタルの壁があると感じている。支援事業を使い、デジタル活用講座を5回開く予定だ。

問 地区によって「情報格差」が出ないため、どのような対策を行う予定か。

企画財政課長 地域業務の効率化、持続可能な地区運営を行うにはデジタルツールの活用が有効な手段と考える。アドバイスが必要なら村も積極的に支援していく。

問 地区のWi-Fi環境整備の考えは。

村長 まだ計画が無いので、地区に向いての融和集会の議題として取り上げていきたい。



『長寿を祝う会』で歌う参加者



羽多野美映 議員

ワクチン接種と感染症対策



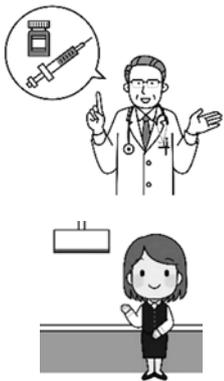
答 広報・HP・LINE等活用し、随時内容を更新していく。

問 65歳を対象とした定期接種、接種期間が重複するケースにはどう対応するか？

住民福祉課長 予防接種は次の予防接種が打てるまでの期間が決められている。無理なく接種機会を逃がさず済むよう、希望する場合は主治医と相談しスケジュールを組むのがよい方法。村の窓口でも随時相談を受け付けている。(相談件数は今年度で30件ほど)

問 RSウイルス感染症のような新たな感染症に対しての周知は？

住民福祉課長 最新の感染動向、ワクチンの情報提供は国や県より情報提供があった際には住民への注意喚起、情報提供を呼び掛ける。RSウイルス感染症に関してはHPに掲載していく。



小型充電式電池の回収、対応は？

建設環境課長 「家庭から廃棄されるすべてのリチウム電池等の安全処理体制を構築」とされる国の通知から、村でも処理体制を構築していく必要があると考えている。まずは何に使われているか、どんな製品が対象となっているかわからない部分を周知することを考えていきたい。



豊田恵美子 議員

村内に広い公園を！



答 広い場所確保は困難。向陽台にベンチを置き憩える場を検討。

問 小さな子供が家の近くで、また、子供達だけで行くことができ自由に遊べる村営の広場を作れないか。

村長 村内には広い場所がない。

問 向陽台に公園をつくる予定はあるか。

村長 具体化していないが向陽台の村の空き地を憩いの場にと話している。

問 旧おひさま保育園跡地を防災公園にし、普段は子供達が自由に遊ぶ原っぱにできないか。

企画財政課長 人口減対策から分譲住宅が望ましいと考えている。



野俣沢

野俣沢林道の管理と今後の見通しについて

問 野俣沢林道は安全か。

村長 堆積層であり、頑丈な岩盤で大丈夫だ。



旧おひさま保育園跡地

鳥獣被害防止柵の管理・熊のゾーニングについて

問 鳥獣被害防止柵の5メートル区間が伐倒されている場所とされていない場所があるのは何故か。

産業振興課長 地主さんと区の協力で、伐倒されている。

問 鎖川河川敷が熊の居場所と指摘がある。村はどう対応するのか。

産業振興課長 奈良井川改良事務所が管理。建設環境課と鎖川愛護会が草刈りを年2回実施している。



清澤あゆみ 議員

主権者教育と 子ども議会の可能性



答 子ども議会の実施については現在考えていない。

問 子ども議会のような「子どもの声が届く場」を作ることは村の教育においても先進的な取り組みになるのでは？

教育長 子どもたちが地方自治や議会に関心を持ち追求を始めたなら積極的に取り組んでいく。

問 地域のことを学ぶことは子どもたちにとっても先生方にとっても大切だと考えるが。

教育長 小学校段階においては教科学習はもちろん地域学習にも積極的に取り組む、身の回りの出来事に関心を持ち、仲間と協力して村や社会の課題を自分事として主体的に追求する子どもを育成したい。総合的な学習の時間等を使って地域のことを学び知るといった動きを子どもたちから出してもらいたい。

問 より実践的な主権者教育の機会として子ども議会を再度提案するが。

教育長 子ども議会は主権者教育の一手段として捉えている。子どもたちには地域に根差した学習を取り入



れ、そこから意見表明をしていくといった声をあげる学びをしてほしい。それを踏まえて子ども議会のあり方については検討していく。学校とも話し合いを重ねていきたい。



古池美佐江 議員

朝日村自主番組の目的は



答 情報番組として今の村の近況を伝えること。

問 今の運営状況はどのようか。

企画財政課長 テレビ松本委託料1,186万9千円加入率64.7%企画財政課でテレビ松本と打ち合わせをし、番組制作を委託している。

問 村は内容の評価と村民の意見を反映しているか。

村長 していない。

問 今後、番組について改善していく考えはあるか。

村長 村のニュースを伝える事に徹していく。

問 低コスト化のためにYouTubeなどの活用は可能か。

企画財政課長 SNSの発信には基準を定めクリアしなければ出来ない。

村長 高齢者にとって見やすいケーブルテレビは残しつつ、SNSでの発信は新たな情報手段として分けて考える。

地区自治会問題のその後は

問 村はスタービレッジ地区とどの

ように関わっていくのか。

企画財政課長 地区代表者と連絡が取れるようにしている。

問 未加入者問題の研究会の見通しと進捗状況は？

副村長 6〜7月にかけて区の役員との懇談会を持ち、方向性を定めた上でメンバーを選定し、立ち上げる。地区担当者(村職員)の配置は未定である。





北村直樹 議員

小林村政の 振り返りと今後



村長 79項目の施策について実施率は75%。残り2年で実行する。

問 小林村長が村長に就任し2期6年が経過しました。

村民の付託を受け次の事について伺いたい。

①自身の施策の手応えと反省点について。

②残り2年で取り組むべき最も重要な施策は？

③現在懸念している課題と解決方法について。

村長 9つの公約を掲げた2期目に79項目の推進テーマを設け実行率は59項目であり実行率は75%。残りの項目は今後2年で確実に実行していく。また、無医村回避の為に「あさひ診療所」の開設を来年春に目指すと同時に老朽化が進む中央公民館と周辺公共施設の複合・集約化。森林資源を守る為の松くい虫被害対策。農業分野については農業の担い手確保や農業経営法人支援、冬季における農業拡大に向けた取り組みを行っていききたい。また、今日の野菜の価格低迷や過去にない野菜の出荷調整を受け、真剣に農家を救済する策と



2期6年を振り返る小林村長

して何が良いのか考えなくてはならない。平成8年の0・157の時のような対策を参考に農協や議会と相談して対応を練っていききたい。



清沢正毅 議員

朝日村魅力発信の 取組について



答 村HP、メディア、SNSを活用した村魅力発信事業に取り組む。

問 村長が年に数回村外に出向いて朝日村特産品のトップセールスを実施しているが、この企画は村独自の活動なのか。それともJAや商工会主催の活動か。その目的、実施スケジュール、行先、セールス対象となる村特産品は何か。その成果はどうか。

産業振興課長 産業振興課でのトップセールスは年1回実施している。今年度は北九州、昨年度は東京、昨年度は名古屋。JAと協力してセールス対象品は村特産の野菜だけ。成果としては、朝日村野菜の品質の良さや安定した供給体制をPRできている。

問 役場内の各課で村の魅力発信を個別に取組んでいるが、村全体として主管課を置き魅力情報発信を有機的かつバランスの取れた活動としてコントロールされた体制となっているか。

企画財政課長 村全体を網羅した体制には至っていない。

問 村内団体・サークル紹介冊子。

移住定住促進パンフ・朝日村小辞典など、朝日村の魅力を掲載した素晴らしい冊子が作られているが、村外PRに有効活用されているか。

企画財政課長 県外での観光イベントなどのPR媒体として活用、また銀座NAGANOなどにも設置しPRに役立っている。

問 ふるさとCM大賞への応募はどう考えているか。また、今後村の魅力発信事業に新たに取組む事業とさらに力を入れていく事業は何か。

企画財政課長 2001年から始まりこれまでに11回応募している。当時は職員によるAYTの取り組みであったが、近年では2回にとどまっているが、今後村民も交えた形での制作も考えたい。

今後の取り組みは村HPおよびメディアへの積極的な情報発信とSNSを活用した村の魅力発信事業に取り組んでいく。



村PR媒体として活用

6/13

バイパス工事・防犯カメラ視察

6月13日、6月定例会閉会后、行政視察として、新田松本線新田バイパス工事、各防犯カメラ設置場所、本郷工区・くりあげ場工区の現状と課題を確認した。

新田バイパスは防災・安全交付金(道路)工事として、全長600mの内、道路築造工事(400m)を実施中。令和9年度に完成予定ではあるが、令和10年度にずれ込む可能性もあるとの事だった。

防犯カメラは村内8カ所に設置済み。主に村外からの侵入車両を撮影している。既に警察への情報提供も数件行っている。

本郷工区及びくりあげ場工区は、本工事も終了し耕作も始まっている。それぞれの圃場で問題点が指摘されており、対応策が示されている。さらなる改善が期待される。

(齊藤正法)



バイパス工事進捗を視察

5/27

全国町村議会議長・副議長研修会

5月27日、全国町村議会議長・副議長研修会が東京国際フォーラムにて行われ、3人の有識者により災害や防災に関する講演があった。

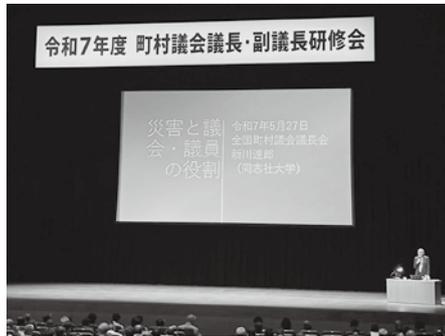
①自治体の災害対応力強化には「防災DX」が不可欠で、広域災害時の自治体間の情報共有にも役立つシステムの利用拡大推進の重要性について。

②気候変動で激化する水害・火災が世界的に増加。災害は常に想定外で想定外に備えるのが危機管理。個別避難計画の充実について再度検討するべき。

③災害と議会についての講演では、被災時に機能停止する議会を避けるため議会の業務継続計画(BCP)策定が急がれる。

災害はいつくるかわからない。日常の中にある日頃の備えと訓練の大切さを改めて痛感した。

(清澤あゆみ)



全国から約2000名が集結

4/13

朝日村消防団総合訓練

4月13日、9時から11時朝日村消防団総合訓練が行われた。前日からの雨により場所は運動広場グラウンドから農業者トレーニングセンターに変更。山形村消防署員による指導で分列行進訓練が行われ、全議員が出席した。途中短時間の休憩をはさみ2時間近い訓練による成果は素晴らしく、日曜の貴重な時間を使って訓練に励まれている消防団員の姿とラッパ班の演奏に感動した。朝日村を火災、災害から守って下さっている消防団員の皆さんに感謝すると共に今後、機能別団員、村内事業所団員の参加等で消防団員が増えることを願う。



分列行進の様子

(豊田恵美子)

議員 活動報告

地域を目で見えて聞いて参加して

議員は、議員活動日誌のとおりたくさんの方の諸会議・行事・研修及び視察を行っています。このコーナーでは、主な活動について報告します。

議会活動日誌

4月

- 2 水 全員協議会
- 3 木 あさひ保育園入園式
- 4 金 朝日小学校入学式
- 5 土 朝日村消防団任命式
- 9 水 全員協議会
- 13 日 消防団総合訓練
- 14 月 県議長会役員会
- 23 水 議会運営委員会
- 24 木 大尾沢林道愛護会御水神祭
- 30 水 臨時会 全員協議会

5月

- 9 金 東筑議長会総会
- 13 火 全員協議会
松本公共交通協議会打合せ
商工会通常総会
- 14 水 篠ノ井線松本地域活性化協議会総会
- 19 月 土地開発公社理事会
民生児童委員推薦会
- 21 水 塩尻朝日防犯協会連合会定期総会
- 25 日 長寿を祝う会
- 26 月 議会運営委員会
- 27 火 正副議長研修会
- 31 土 朝日小学校運動会

6月

- 2 月 松本地域公共交通会議
- 3 火 6月定例会開会 本会議・全員協議会
- 4 水 県議長会臨時総会
- 6 金 全員協議会
常任委員会
- 10 火 本会議 一般質問
- 13 金 本会議 閉会
行政視察
- 18 水 総務産業委員懇談
- 19 木 第2回民生児童委員会推薦会
松本地域公共交通協議会朝日部会
- 20 金 野俣林道愛護会会計監査
- 23 月 社協評議員会
- 25 日 安協防犯協会
- 27 金 総務産業委員懇談

7/14 充実した研修会

7月14日、キッセイ文化ホールで、長野県町村議長会主催の議会議員研修会が開催されました。早稲田大学デモクラシー創造研究所地域経営部会長の中村健氏からは、ご自身の徳島県川島町長としての経験談を交え、議会が住民の声を聴き、行政とどのように共創すべきか、そして議会改革の重要性についてご講演いただきました。ユーモアを交えつつも、議員として住民代表の役割を果たす上で、行政との議論、そして議員間の協力・研究のあり方を深く考えさせられる内容でした。また、日本科学技術ジャーナリスト会議会長の室山哲也氏からは、生成AIの現状についてお話を伺い、AIを活用した未来社会の可能性を感じました。大変充実した研修会でした。



中南信地域の議員研修

(古池美佐江)

5/25 長寿に乾杯!

5月25日、農業者トレーニングセンターアリーナで開催された「長寿を祝う会」に議員も参列をさせていただきました。

朝日村の75歳以上の方は826人とのことですが、この日の参加者は92名でした。参加された方々は地元のおやじバンド「じゃがーず」のステージを楽しみ、カラオケで自慢の歌声を披露したり、ハーモニカを演奏したりとにぎやかなひと時を過ごされていました。

2020年のコロナ感染症の確認以降、村の多くの行事が様変わりを行いました。それから5年が経ち、今年度の「長寿を祝う会」はコロナ前のようにお酒やビールもたくさん用意され、皆さんお料理に舌鼓を打ち、杯を交わし大いにお喋りを楽しむ姿を拝見し、本当にコロナ禍があけたなと実感した会となりました。

企画運営にご尽力いただいた公民館、分館役員の皆さまお疲れ様でした。そして、参加した92名の皆さんから会の楽しさが伝播され、来年度はもっと沢山の人が参加する会になることをご祈念申し上げます。

(中村文映)



長寿に乾杯!!

村民の声

地域のつながり大切に



古見区長
横山 吉美さん

四月より古見区長の拜命を受け、3か月が過ぎました。古見区ではこんな活動や事業を予定しています。

- 1 安心・安全
 - ・ 自主防災会を作り地震総合防災訓練、通学路の安全を図り除雪機による除雪。
- 2 環境整備
 - ・ 古見集落センターやふれあい広場の除草、古見集落センターの暖房や冷房の管理。
- 3 地域づくり
 - ・ 古見集落センター及びせせらぎの館の維持管理、区内グーループ活動の支援、公民館分館との協力。
- 4 資産管理
 - ・ 五五、五七堰余水吐水路閉鎖式、古見・入二区共有林山の神祭り。

3月に村内で「防災高齢者学習会」が開かれ、「大雨で避難勧告が出されました。あなたはどつしますか。」をテーマに話し合いました。約30%の人が「避難しない、高齢者がいて避難できない」「近所の人と繋がりがなく、助けてもらえない」と答えました。最近では地域の自治会に入らない人が増えています。誰が住んでいるのかわからない地区では防災防犯面で心配です。みんなで相談しながら、「笑顔あふれ、繋がりが集う古見区」を目指して頑張ろうと思います。よろしくお願ひします。

我がむら再発見!

村内の施設やイベントに議員が訪問して
その取組や要望を聞く地域密着のコーナー

第24弾「カンロ株式会社 朝日工場(続)」

朝日村にあるカンロ朝日工場では、現在一日に4,200ケース 約20tのグミを製造している。代表的な商品としてはピュレグミやカンデミーナグミがある。具体的な量が想像できないというと、「工場から松本方面へピュレグミを一粒ずつ並べていくと、松本駅に到達する」とのこと。カラフルでかわいらしい見た目や食感の楽しさが支持され、コロナ禍以降には、「小腹満たしに罪悪感の少ないお菓子」として再評価された。SNSとの親和性の高さもあり、その魅力は一気に拡散された。現在は多種製造に対応するためにフル稼働で操業しており、工場の増設も決まっている。

「Sweeten the Future ~心がひとつぶ、大きくなる。~」というカンロの企業パーパスにふれたとき、飴玉のように気持ちをほんのり甘く、やさしくしてくれる言葉だと感じた。村内に、こうした想いを大切にしている企業があることを誇らしく思う。

(羽多野 美映)



人気のグミを製造

編集後記

同級生って不思議だ。何年も会っていないなくても会ったその瞬間からあの時に戻れる。今年の二十歳のつどいに出席した我が家の次男。朝日小学校を卒業する時にタイムカプセルを預かってくれる業者に送っていた。中には当時の名札や写真など。当時当たり前だった日常にスツと戻ったと。朝日村が心のふるさとであってほしい。ふっとした時、帰りたいと思える場所であってほしい。

(清澤あゆみ)

発行責任者

議長 小林 弘之

編集委員

委員長 清澤あゆみ

副委員長

北村 直樹

齊藤 正法

豊田恵美子

古池美佐江

清沢 敬子



こちらから
朝日村議会の
ホームページを
ご覧いただけます